

NOVAC

Record to Direct DIGITAL

セットアップガイド

製品型番:NV-RP003U

ご使用になる前に

ご使用になる前に、本紙をよくお読みの上、正しくお使いください。

1. 製品の紹介

Record to Direct DIGITAL はレコードをダイレクトに USB メモリーや SD カードに録音したり、レコードをパソコンへ録音する機能を備えた製品です。ドライバのインストールは プラグアンドプレイで OS 標準のドライバで自動認識し、インストールが簡単です。また、パソコンのハードディスクには、MP3 / WMA / WAV 形式のいずれかで録音ができます。

注.) デジタル著作権保護(DRM)付きの音楽ファイルは、メディア間のコピー、音楽の再生、およびパソコンへの取り込みはできません。

2. 同梱物の確認

本製品には、以下のものが含まれています。最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

- 「Record to Direct DIGITAL」本体 X 1
- ソフトウェア CD-ROM X 1
- USB ケーブル X 1
- ターンテーブルマット X 1
- 交換用レコード針 X 1
- 保証書
- Record to Direct DIGITAL セットアップガイド(本紙)
- Record to Direct DIGITAL 操作編

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

3. セットアップガイドの注意事項

本セットアップガイドでの注意事項

- 本紙の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
- 本紙の内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
- ソフトウェアおよび本紙を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- Windows は米国 Microsoft 社の商標または登録商標です。
- その他、本紙に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本紙は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。
- 本紙の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複写(コピー)することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

4. 安全に正しくお使いになるために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項を本書に従って、正しく安全に使用してください。

----- 警告・注意 -----

けがの恐れがあります。

- 落下、不用意な接触などに十分注意してください。
- 足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつけるなどすると、けがの原因となります。不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理してください。
- ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- 強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。火災の恐れがあります。
- 本製品をパソコンに装着され通電された状態で長時間、本機から離れないでください。長時間離れる場合には処理を終了し、本製品の電源をお切りください。

感電・けがなどの恐れがあります。

- 落下などにより損傷した場合、また、移動などに際しケーブルの傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止してください。また、破損部分や内部には手など触れないようにしてください。
- 分解しないでください。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い所水中などで使用しないでください。感電などの恐れがあります。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- 添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。

免責事項について

- ※ 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求について、当社は一切責任を負いません。
- ※ 本製品に付属のセットアップガイドの記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。
- ※ ハードディスクや各記録媒体に記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。大切なデータ等は、使用前、使用中は、必ずお客様の責任の下、バックアップされるようお願いいたします。

5. 動作環境について

対応 OS	Windows XP / Windows Vista / Windows7
CPU	Pentium III 500MHz以上
メモリー	512MB 以上 <p>(OS がスムーズに動作する環境を推奨)</p>
USB ポート	USB1.1 または USB2.0 (USB2.0 推奨)
CD/DVD-ROMドライブ	アプリケーションのインストール時に必要

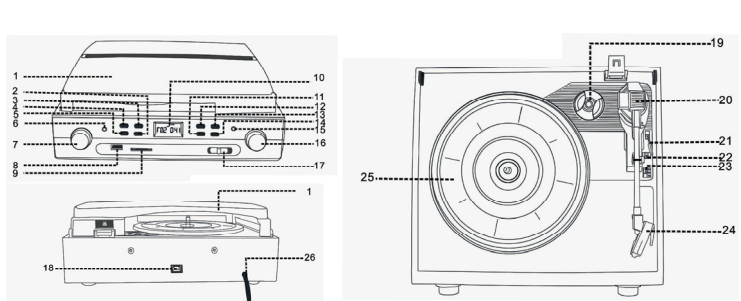
※ 上記動作環境を満たしていても、すべての環境での動作を保証するものではありません。

6. 製品の仕様

AUX 入力 / ヘッドホン端子	3.5mm ステレオミニピン端子
USB 端子	USB B コネクタ
電源 / 消費電力	AC 100V 50～60Hz / 10W
スピーカー	Stereo 40mm X 70mm 4Ω 3W
本体サイズ / 重量	320 X 292 X120mm / 約 2.3 Kg
前面 USB ポート/SD カードスロット使用可能メディア(※)対応フォルダ数/ファイル数(※)	USB メモリー / SD / SDHC カード(16GB Class6 まで)各最大 99 フォルダ、かつ全 999 ファイル以内

- ※ レコード針、ターンテーブル駆動ベルトは消耗品扱となります。保証対象期間内であっても、保証対象となりませんのでご了承ください。
- ※ USB メモリー、SD(SDHC)カードについては、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。メディアと相性により動作しないことがあります。
- ※ 前面 USB ポートは USB メモリー以外の機器については動作保証いたしません。
- ※ パソコンから USB メモリー、SD(SDHC カードなどへの録音、またはファイルの転送機能はありません。
- ※ デジタル著作権保護(DRM)付きの音楽ファイルの再生、およびパソコンへの取り込みはできません。
- ※ フォルダ数またはファイル数の最大数を超えた分については、再生、録音等は行えません。
- ※ レコード本来の原音を忠実に再現することを保証するものではありません。

7. 本体の各部の名称



- ダストカバー
- FOLDER; USB メモリーや SD カードに記録されたフォルダを選択。
- SOURCE; USB メモリーや SD カードへの切り替え。
- REC; レコードから USB メモリーや SD カードへのダイレクト録音 / USB メモリー⇄SD カード間のコピー。
- DELETE; USB メモリーや SD カードに記録されたファイルの削除。
- PHONES; ヘッドホン端子。ヘッドホン、イヤホンを接続します。
- POWER/VOL; 電源スイッチ / 音量ボリューム。
- USB; USB メモリー挿入口。(※)※本製品をパソコンに接続した場合に、USB ポートとして利用できません。
- SD CARD; SD カードカードスロット。(※)※本製品をパソコンに接続した場合に、SD カードスロットとして利用できません。
- ディスプレイ; フォルダ数や曲数、タイムカウントなどを表示します。
- PREV; USB メモリーや SD カードのファイルを再生中に押すと、1つ前のファイルに移動します。
- PLAY/PAUSE; USB メモリーや SD カードに記録したファイルの再生/一時停止。
- STOP; USB メモリーや SD カードに記録したファイルの再生を停止します。
- NEXT; USB メモリーや SD カードのファイルを再生中に押すと、次のファイルに移動します。
- AUX; 補助入力端子。ステレオミニピンジャックケーブルを使用し、他のオーディオ機器を接続できます。
- PC REC VOL; パソコンへの録音時の録音音量を調整。
- FUNCTION; AUX / PHONO / SD の各モードの切り替え。
- USB ポート; 付属の USB ケーブルを使用しパソコンと接続します。
- アダプタ; 45 回転シングルレコード用アダプタ。
- トーンアームセット; トーンアームを上下させます。
- リフタ; 再生するレコードに合わせて回転数を切り替えます。
- 78/45/33; OFF:電源スイッチをONにしたと同時に、ターンテーブルが回転します。ON:アームをレコード盤の方へ移動すると、ターンテーブルが回転し、アームレストへ戻すとターンテーブルの回転が停止します。
- AUTO STOP(※);

※45回転の17cmサイズのレコード(EP盤)を再生する場合は、"AUTO STOP スイッチは、"OFF"で再生してください

- レコードヘッド; レコード針が取り付けられています。使用時は保護カバーを取り外してください。
- ターンテーブル; レコード盤を載せます。
- AC ケーブル; 電源をコンセントに接続します。

8. ご使用にあたっての注意事項

本製品を使用するにあたって、以下のことを必ずお守りください。

- レコード針は絶対に手や指で、触らないでください。針の曲がりや、破損の原因となります。レコード針に付着した塵やホコリなどを清掃する際は、市販のレコード針専用クリーナーを使用して清掃を行ってください。
- レコードを再生中に、レコード盤に手を触れたり、手で逆転させたりなどの行為は絶対に行わないでください。レコード針の破損や、本体の故障の原因となります。

- 再生中や停止中を問わず、本体をゆすったり、衝撃を加えたりしないように、ご注意ください。
- 歪みの大きいレコードや、激しい傷のあるレコードは再生しないようにしてください。音とびが発生したり、レコード針が極端に飛び、本体各所に接地したときに傷付いたり、破損したりする恐れがあります。

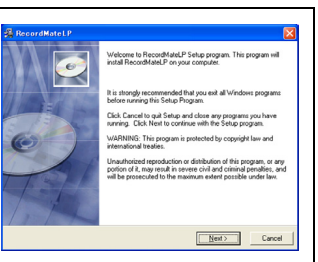
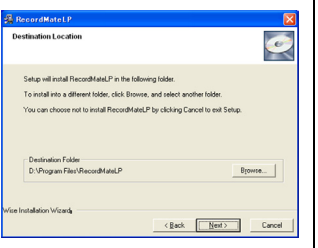
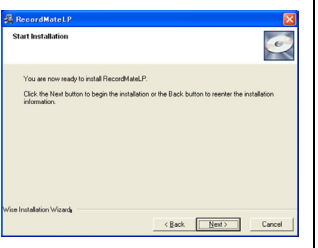
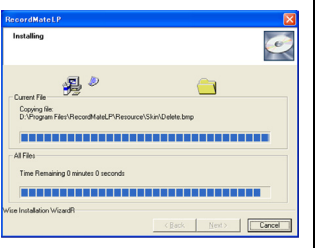
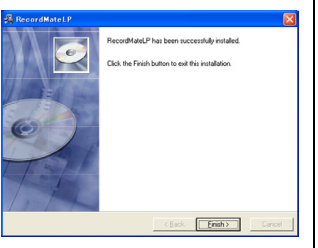
上記を守らず本体が破損した場合は、保証の対象となりませんので予めご了承ください。

9. ソフトウェアのインストール

付属のソフトウェア CD-ROM をパソコンに挿入すると、インストール画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

※ ソフトウェアのインストールは、「コンピュータの管理者権限」付きのユーザーで Windows にログインインストールを行ってください。

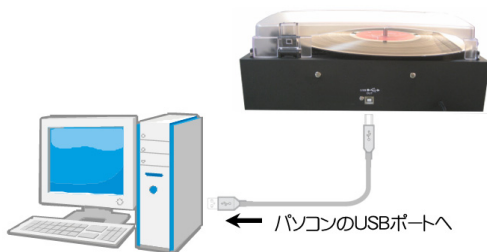
※ Windows Vista、または Windows 7 環境でのインストールの際、「ユーザーアカウント制御」に関する警告が表示される場合は、必ず「許可(A)」(Windows7 は「はい(Y)」)をクリックしてください。

	
<p>1. インストールの開始画面です。“Next” ボタンをクリックしてください。</p>	
<p>2. “Next” ボタンをクリックしてください。</p> <p>※“Brows” ボタンで、インストール先を変更することもできます。</p>	
<p>3. “Next” ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。</p> <p>“Next” ボタンをクリックしてください</p>	
<p>4. インストール実行されます。</p>	
<p>5. インストールの完了画面です。“Finish” ボタンをクリックして、画面を閉じます。</p> <p>これでソフトウェアのインストールは終了です。</p>	

10. パソコンとの接続

- Record to Direct 本体の電源ケーブルをコンセントへ接続し、本体の電源を入れます。
- パソコンを起動し、下図の様に付属の USB ケーブルを使用し、Record to Direct 本体をパソコン本体の USB ポートへ接続します。

※注) バスパワータイプの USB HUB や、Card Bus タイプの USB2.0 インターフェースカードに接続した場合、動作しないことがありますので、必ずパソコン本体の USB ポートへ接続してください。



- パソコンに接続すると、OS 標準のドライバでデバイスマネージャ上の「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の項目内に、以下の様な名称で自動的に認識されます。

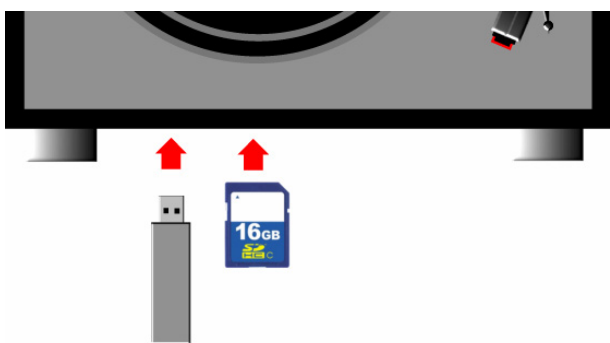
■Windows Vista/ Windows 7 の場合
「USB Audio controller」と認識されます。

■Windows XP の場合
「USB オーディオデバイス」と認識されます。

※注) 他の USB ヘッドホン、USB オーディオ機器等と併用した場合、正しく動作しない場合があります。

11. USB メモリーおよび SD カードの挿入方向について

各記録メディアは下記図の方向で挿入してください。



12. ソフトウェア Record Mate LP について

11-1 ソフトウェア(Record Mate LP)の起動

デスクトップ上に作成された、「Record Mate LP」のアイコン、または「プログラムメニュー」より、「Record Mate LP」をクリックして、ソフトウェア起動してください。

11-2 Record Mate LP の操作パネルについて



- 波形モニター; 入力している音声の波形をリアルタイムに表示します。
- 一時停止ボタン; 録音を一時停止します。
- トラック分割ボタン; 録音中のデータをこのボタンをクリックしたタイミングで分割します
(いったん現在のトラックを終了させ、新たなトラックを作

成し録音を続けます)
※分割方法が「手で分割」の場合のみに機能します。

- 停止ボタン; 録音を停止します。
- 録音; 録音を開始します。
- 録音 No.; 録音作業に対する録音 No.を設定します。
(一回の録音を停止することに自動的にカウントアップ"+1"します。)
- トラック No.; 録音作業に対するトラック No を設定します。
(トラックが分割されるごと自動的にカウントアップ"+1"します。)
- 最小化ボタン; Record Mate LP を最小化し、タスクトレイに常駐します。
- 終了ボタン; Record Mate LP を終了します。
- 音量モニター; 取り込もうとしている音声データの音量を表示します。
- オプション設定; オプション設定画面を開きます。
- 録音再生; 録音再生画面を開きます。
- 分割方法; 録音の際の分割方法を指定します。
- ID3 タグ(※); 録音の際に生成される音声ファイルに設定する ID3 タグ情報の入力を行います。
ID タグの入力は、録音中に入力することができ、停止ボタンで停止したり、手動 / 指定した時間 / 無音区間で分割などトラック分けごとに確定され、ファイルに登録されます。

※ ID3タグとは、音声ファイルの中に記録する「タイトル名、アーティスト名、アルバム名、作成年、」などの情報です。録音し作成されるファイルの「ファイル名」ではありません。

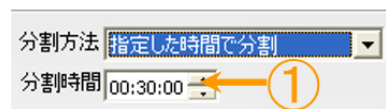
11-3 「分割方法」について



操作パネル上の(12)の▼ボタンをクリックすることで、音声を録音する際の分割方法を指定できます。

分割することによって、自動的にトラック No.が カウントアップ "+1" されていきます。

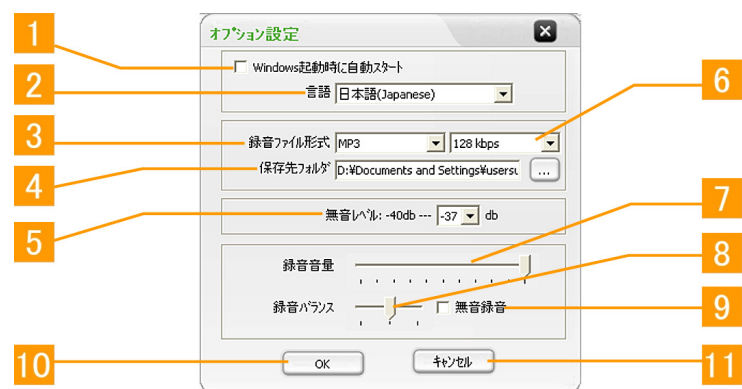
- 手で分割; 自動で分割することは行わず、ユーザー自身がトラック分割ボタン(3)を操作し、任意のタイミングでトラックを分割します。
- 指定した時間で分割; 一定の時間毎に自動的にトラック分割し、保存していきます。分割時間の指定は、右上図①の箇所、1 秒単位で指定できます。



- 無音区間で分割; 音声の内容を認識して音声が入った箇所まで自動的にトラックを分割します。無音時間の指定は下記図②の箇所、1 秒単位で行います。ただし、入力される音声はアナログ音声のため、ノイズが混入することがあり、ノイズを音声として捉えてしまいますので、ノイズレベルを確認し、「オプション設定」(以下 11-4 オプション設定の項参照) 画面にて、「無音レベル」の調整値を設定してください。



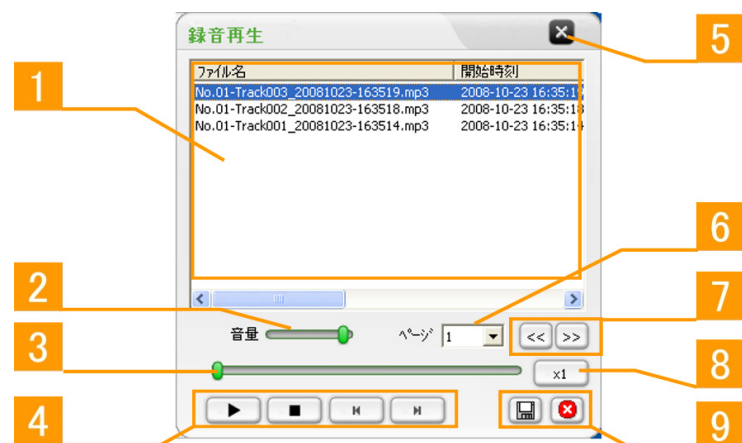
11-4 「オプション設定」画面について



- Windows 起動時に自動スタート; チェックを入れると、Windows を起動した際に、自動的に Record Mate LP が起動します。
- 言語; 表示を「日本語」または「英語」など他の言語に切り替えます。
- 録音ファイル形式; 録音する際のファイル形式を選択します。
- 保存先フォルダ; 録音するファイルの保存先を指定します。
- 無音レベル; 分割方法にて「無音区間で分割」を指定した場合、曲間などの「無音」と判定するためのレベルを「音量モニター」のレベル数値を確認して設定します。設定範囲は、-39db~-30db の範囲で指定できます。
- ビットレート; MP3 または WMA 形式で録音する際の、ビットレートを選択します。(初期値 128Kbps)
ビットレートは、32kbps~320kbps の範囲で選択します。
- 録音音量; 録音する際の音量レベルの調整を行います。録音音量は波形モニターに表示される波形が枠内に収まるように調整してください。
※注意; 音量を大きくすると、無音区間で混入するノイズのレベルも大きくなり、無音レベルの指定範囲を超える場合があります。
- 録音バランス; 録音時の左右の音量のバランス調整を行います。
- 無音録音; 録音時にパソコンのスピーカーから音声を出力しないようにします。
- OK; 設定した内容を保存します。
- キャンセル; 編集内容をキャンセルします。

11-5 「録音再生」画面について

操作パネル上の「録音再生」ボタン(13)をクリックすると、以下の画面が表示され、録音したファイルを再生することができます。



- 録音リスト; 録音されたファイルを表示します。
- 音量; 再生中の音量を調整します。
- スライダーバー; 再生中のファイルの位置を移動します。
- 再生/停止/スキップボタン; ファイルの再生や停止、次のファイルへの移動等を行います。
- 閉じる; 「録音再生」画面を閉じます。
- ページ; 「録音リスト」のページを選択します。
- ページ Up/Down; 「録音リスト」のページを移動します。
- 再生速度; 再生速度を変更できます。
(X0.5, X0.8, X1, X1.2, x1.5 から選択できます。)
- 保存 / 削除; 録音したファイルを別の保存先へ「名付けて保存」したり、「削除」します。

13. 製品の保証とアフターサービス

異常や不具合が起きたら

- 万が一異常や不具合が起きた場合は、お買い上げ店または弊社サポート窓口にご相談ください。

■ 製品保証

- この製品には保証書が添付されています。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票(レシート)を必ず一緒に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
- レコード針、ターンテーブル駆動ベルトは消耗品扱いとなり、製品保証の対象外となりますので、保証対象期間内であっても保証対象となりません。

■ アフターサービス

● 調子が悪いときはまずチェックを

調子が悪いときはまずこの説明書および操作編をもう一度ご覧になってください。それでも具合の悪い場合は、ノバックサポートセンターまでお問い合わせください。

● 修理をお申込の場合は

製品一式をお買い上げ店へお持ちください。
弊社へ直接送付いただく際の発送時の費用は初期不良(購入後 1 ヶ月以内)の場合は「着払い」にて お送りください。
それ以外の場合は、送付いただく際の発送時の費用は、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきますので ご了承ください。

※送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

■ 製品に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
成田ビル 3F
株式会社ノバック サポートセンター
サポート専用電話 : (03)3817-0938
受付時間 : 月曜～金曜(祝祭日、および弊社休業日は除く)
AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00
URL : <http://www.novac.co.jp/>


「Record to Direct DIGITAL」セットアップガイド
発行日: 第 1 版 2010 年 12 月
発行元: 株式会社ノバック
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
成田ビル 3F
RP0003U101201JO

NOVAC Record to Direct DIGITAL 操作編

製品型番:NV-RP003U

本紙では、ソフトウェア、本体の操作などについて説明しています。

レコード聴く

パソコンに本製品を付属の USB ケーブルで接続し電源を入れ、本体前面のファンクションスイッチ()を PHONO の位置に合わせます。

アプリケーションソフト“Record Mate LP”を起動します。

ターンテーブルにレコードを載せ、回転数を合わせた後レコードの再生を行ってください。

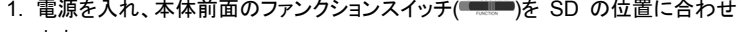
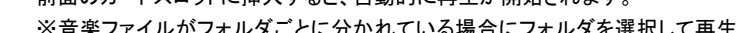
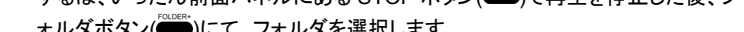
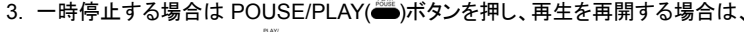
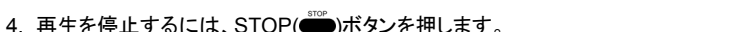
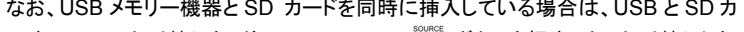
※ 本製品単体でレコードを聴く場合は、パソコンへの接続および、アプリケーションソフト“Record Mate LP”は必要ありません。


USB メモリーや SD カードに記録された音楽を聴く


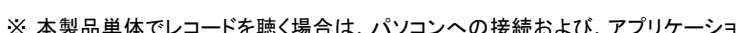
本製品は USB メモリーや、SD カードに記録された音楽ファイル再生することができます。

再生可能なファイル形式は MP3、WMA、となります。
ただし、著作権保護(DRM)された音楽ファイルの再生は行えません。

【再生手順】

- 電源を入れ、本体前面のファンクションスイッチ()を SD の位置に合わせます。
- USB メモリー機器を本体前面の USB コネクタに接続、または SD カードを本体前面のカードスロットに挿入すると、自動的に再生が開始されます。
※音楽ファイルがフォルダごとに分かれている場合にフォルダを選択して再生するは、いったん前面パネルにある STOP ボタン()で再生を停止した後、フォルダボタン()にて、フォルダを選択します。
- 一時停止する場合は POUSE/PLAY()ボタンを押し、再生を再開する場合は、もう一度 POUSE/PLAY()ボタンを押すことで再生します。
- 再生を停止するには、STOP()ボタンを押します。

なお、USB メモリー機器と SD カードを同時に挿入している場合は、USB と SD カードスロットの切り替えを、前面の SOURCE()ボタンを押すことで切り替えられます。

ただし、切り替える場合は、いったん STOP()ボタンを押し、停止してから、前面の SOURCE()ボタンを押し、切り替えを行ってください。


※ 本製品単体でレコードを聴く場合は、パソコンへの接続および、アプリケーションソフト“Record Mate LP”は必要ありません。

注. USB メモリーや SD カードなどに記録されデジタル著作権保護(DRM)付きの音楽ファイルの再生はできません。

注. USB メモリーや SD カードなどのフォルダの階層は 7 階層以内を推奨。

注. 再生順序はファイル名やフォルダ名に関係なく、フォルダ階層優先で、かつ各メディアに記録された順での再生となります。

レコードをパソコンのハードディスクへ録音する

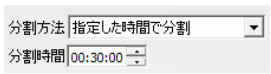
パソコンに本製品を付属の USB ケーブルで接続し電源を入れ、本体前面のファンクションスイッチ()を PHONO の位置に合わせます。

アプリケーションソフト“Record Mate LP”を起動し、以下の手順で録音を行います。
録音したファイルは、「オプション設定」内にある「保存先フォルダ」で指定したパスへ保存されます。

1. 録音方法の選択。

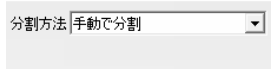
● 指定した時間でファイルを分割して録音を行う場合

録音時間を指定してファイルを分割し録音を行う場合は、“Record Mate LP”の画面の「分割方法」の項目を“指定した時間で分割”を選択し、“分割時間”で時間を指定します。
ここで指定した時間ごとに、ファイルは自動的に分割されます。



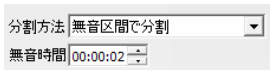
● 手動でファイルを分割して録音する場合

手動にてファイルを分割して録音を行う場合は、“Record Mate LP”の画面の「分割方法」の項目を“手動で分割”を選択します。



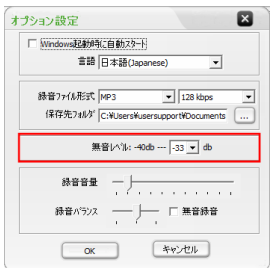
● 無音区間で自動にファイルを分割して録音する場合、

曲の間の無音部分で自動的にファイルを分割して録音を行う場合、“Record Mate LP”の画面の「分割方法」の項目を“無音区間で分割”を選択し、無音区間の時間を指定します。無音区間の時間は、曲と曲の間の無音となる時間を計り、その時間以内の時間を指定します。例えば曲と曲の間に5秒間の無音時間があれば、“00:00:03”(3 秒)と指定します。指定した時間分の無音状態があった場合に、ファイルは自動的に区切られます。



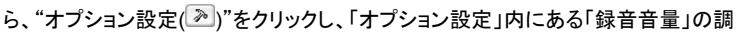
次に、無音区間のノイズレベルの調整を行います。

レコードを再生し、曲と曲の間などの無音区間の部分で発生しているノイズの状態を確認します。例えば 右図の様に、L および R チャンネルにノイズがあるとし、ノイズのレベルを確認します。ここでは、おおよそ -35db くらいのノイズと仮定します。



「オプション」設定内の「無音レベル」の数値を若干の余裕をみて、上記の「-35db」とした数値より大きい数値を「-33～30db」くらいに設定します。

2. 録音音量の調整を行う

レコードを再生させた状態で、アプリケーションソフト“Record Mate LP”の画面から、“オプション設定”  をクリックし、「オプション設定」内にある「録音音量」の調整を最初に行います。

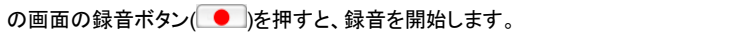
右図の様に全体的に波形が荒い場合は、録音音量のレベルがオーバーレベルの状態です。
このような状態の場合、ノイズレベルも大きくなります。




右の図の様に波形が枠内に収まるように、「オプション」内にある「録音音量」とプレーヤー本体の右側の“PC REC VOL”で録音音量の調整を行います。
調整ができましたら、「OK」ボタンで設定を保存し、オプション設定画面を閉じます。



3. 録音を開始する

上記 1.および 2.の設定が終わりましたら、レコードを再生させ、“Record Mate LP”の画面の録音ボタン()を押すと、録音を開始します。

録音を開始すると“指定した時間でファイルを分割”を選択された場合は、指定した時間ごとにファイルが分割され録音されます。


“手動で分割”を選択“を選択された場合は、ファイルを区切りたい箇所、分割ボタン()を押すことでファイルを区切り録音されます。

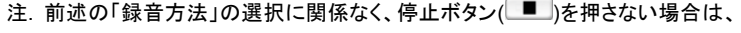
“無音区間で分割”を選択された場合は、無音区間が指定した時間を経過すると、自動的にファイルを区切って録音されます。

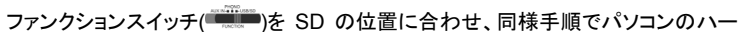
ただし、録音し、自動的に区切られない場合は、再度「無音レベル」の数値設定を変更するようにしてください。

なお、「無音レベル」の調整可能範囲は、「-39～-30db」までの範囲までです。この範囲に収まらないような大きなノイズの状態場合は、手順 1.の「録音音量」をもう少し下げるか、もしくは、「手動で分割」にて、ファイルの分割を行ってください。

4. 録音を終了する。

録音を終了するには、“Record Mate LP”の画面の停止ボタン()を押すと、録音を終了します。

注. 前述の「録音方法」の選択に関係なく、停止ボタン()を押さない場合は、レコードの再生が終わっても録音状態は継続されます。

なお、USB メモリーや SD カードなどに記録された音声や音楽なども、本体前面のファンクションスイッチ()を SD の位置に合わせ、同様手順でパソコンのハードディスクへ取り込む(録音)することができます。

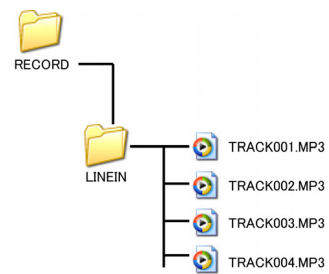
注. USB メモリーや SD カードなどに記録されデジタル著作権保護(DRM)付きの音楽ファイルの再生、およびパソコンへの取り込み(録音)はできません。

USB メモリーまたは SD カードへダイレクト録音する

本製品はパソコン本体を接続しなくとも、レコードまたは補助入力端子(AUX)から USB メモリー、または SD カードへレコードをダイレクトに録音することができます。

※ダイレクト録音の制限事項

- 曲間の自動区切り(ファイルの自動分割)機能はありません。
- 録音形式は MP3 形式(ビットレート 128kbps)のみとなります。
- USB メモリー、および SD カードについては FAT、または FAT32 形式のフォーマットされたものに限りです。
- 1 つの記録メディアに録音可能なファイル数は最大 999 曲までとなります。
- 録音したファイルは各記録メディア以下の階層フォルダが作成され記録されます。

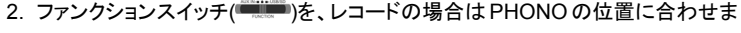


※ 上記表示のフォルダやファイルのアイコンについては参考例です。使用環境によって各アイコンの表示は異なります。

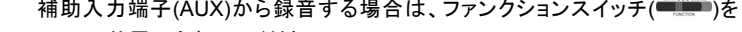
【ダイレクト録音の手順】

- レコードを録音する場合は、ターテーブルにレコードを置きます。

補助入力端子(AUX)から録音する場合は、外部機器(CD オーディオ機器やカセットなど)の音声出力端子を本体前面パネルの補助入力端子(AUX)にオーディオケーブルを使用して接続します。

- ファンクションスイッチ()を、レコードの場合は PHONO の位置に合わせま

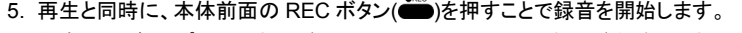
す。

補助入力端子(AUX)から録音する場合は、ファンクションスイッチ()を AUX の位置に合わせてください。


- USB メモリー本体前面の USB ポートへ、または SD カードを本体前面の SD カードスロットへ挿入します。

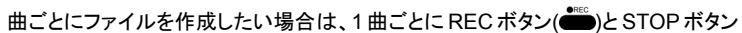

注. USB メモリーと SD カードを同時に挿入することはできません。

- レコードまたは外部機器の、再生を開始します。

- 再生と同時に、本体前面の REC ボタン()を押すことで録音を開始します。録音中はディスプレイの表示が以下のようになり REC の表示が点滅します。



- 録音を停止(終了)するには、本体前面の STOP ボタン()を押すと、録音を停止します。

◆Point
曲ごとにファイルを作成したい場合は、1 曲ごとに REC ボタン()と STOP ボタン()を押すと、曲ごとのファイルを作成することができます。

USB メモリーまたは SD カード間のファイルの録音(コピー)

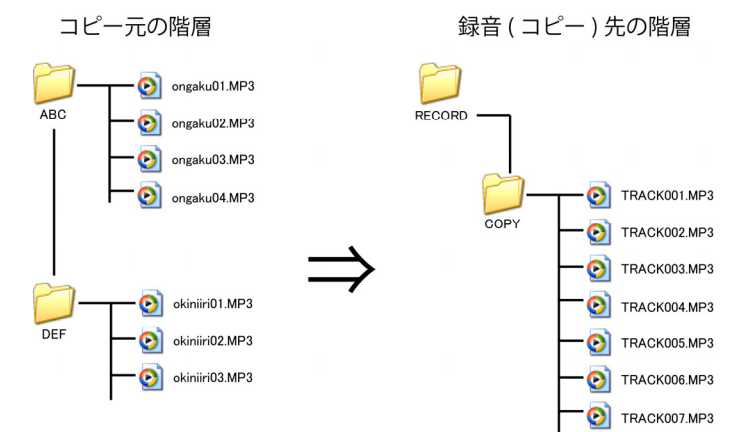
本製品には USB メモリーに記録された音楽ファイルを、SD カードへコピー、または SD カードに記録された音楽ファイルを USB メモリーへ録音(コピー)することができます。

■各記録メディア間の録音(コピー)に関する制限事項について

※ コピー可能なファイル形式は MP3、WMA、のみとなります。
ただし、著作権保護(DRM 付き)された音楽ファイルのコピーは行えません。

※ 録音(コピー)中は、本体から音声は出ません。

※ コピーは音楽ファイルのみのコピーとなり、元のファイルのフォルダ階層やファイル名を維持したまま、ファイルのコピーは行えません。
例えば元のファイル名が「ongaku01」の場合、コピーされたファイル名は、「TRACK001」となり、フォルダ階層は例として以下のようにコピーされます。






※ ID タグは録音(コピー)して作成されたファイルには引き継がれません。

※ コピー元の記録メディアのファイル容量より、コピー先の記録メディアの容量が小さい場合、すべてのファイルを録音(コピー)することはできません。

※ コピー可能なフォルダ数は 99 フォルダ、かつファイル数は最大 999 曲までとなります。

【USB メモリーと SD カード間の録音(コピー)手順】

● 準備

- USB メモリーと SD カードの両方を本体に挿入します。
この時音楽の再生が始まりますが、STOP ボタン()で停止してください。
- コピー元のメディアを SOURCE ボタン()で、ディスプレイ表示を確認しながら USB または CARD を選択します。
(右図は USB メモリーを選択した場合で、以下のすべての内容については、USB メモリーから SD カードへ録音する場合を例として記述しますが、SD カードから USB メモリーへの手順も同じ流れになります。)
この時音楽の再生が始まりますが、もう一度 STOP ボタン()で停止し、フォルダ数と曲数の表示にしてください。









ディスプレイ表示



ディスプレイ表示

● 1 曲のみ録音(コピー)する場合

- コピー元となるメディアから、録音(コピー)したいファイルを NEXT ボタン()または PREV ボタン()で選択します。
(右図は 5 曲目の曲を選択した場合です。)
- REC ボタン()を押し、ディスプレイの表示に右図のように ONE が表示されていることを確認します。(右図数字は記録されている音楽ファイルの数です。)
ONE の表示がされていない場合は、NEXT ボタン()または PREV ボタン()で選択してください。
- もう一度 REC ボタン()を押すとファイルの録音(コピー)が開始されます。
録音中は、右図のような画面で表示の上部が点滅します。
- 表示の点滅が消え、右図の例のように元のフォルダ数と曲数の表示に戻れば、録音(コピー)は終了となります。



ディスプレイ表示



ディスプレイ表示








ディスプレイ表示



ディスプレイ表示

● フォルダを選択して録音(コピー)する場合

- コピー元となるメディアから、録音(コピー)したいフォルダを FOLDER+ボタン()で選択します。
(右図は 2 目的のフォルダを選択した場合で、フォルダ内に 6 つのファイルがあることを表します。)
- REC ボタン()を押し、次に NEXT ボタン()または PREV ボタン()で選択右図のようにディスプレイの表示に FOL を選択してください。
- もう一度 REC ボタン()を押すと選択したフォルダ内のファイルの録音(コピー)が開始されます。
録音中は、右図のような画面で表示の上部が点滅します。
- 表示の点滅が消え、右図の例のように元のフォルダ数と曲数の表示に戻れば、録音(コピー)は終了となります。



ディスプレイ表示



ディスプレイ表示







ディスプレイ表示



ディスプレイ表示

● すべての音楽ファイルを録音(コピー)する場合

- REC ボタン()を押し、次に NEXT ボタン()または PREV ボタン()で選択右図のディスプレイの表示のように ALL を選択してください。
- もう一度 REC ボタン()を押すと選択したフォルダ内のファイルの録音(コピー)が開始されます。
録音中は、右図のような画面で表示の上部が点滅します。
- 表示の点滅が消え、右図の例のように元のフォルダ数と曲数の表示に戻れば、録音(コピー)は終了となります。



ディスプレイ表示



ディスプレイ表示




ディスプレイ表示

USB メモリーまたは SD カードからファイルを削除する。







本体の操作により、指定したファイル、またはフォルダを削除することができます。

ただし、削除したファイルは復元できませんので、削除するファイルやフォルダを一度再生するなどして確認後、十分な注意の上作業を行ってください。

● 準備

USB メモリーまたは SD カードのいずれかを本体に挿入します。
この時音楽の再生が始まりますが、STOP ボタン()で停止してください。

● 1 つのファイルを削除する場合

- NEXT ボタン()または PREV ボタン()で選択します。
(右図は 5 曲目の曲を選択した場合です。)
- DELETE ボタン()を押し、ディスプレイの表示に右図のように DEL ONE が表示されていることを確認します。
DEL ONE の表示がされていない場合は、NEXT ボタン()または PREV ボタン()で選択してください。
- もう一度 DELETE ボタン()を押すとファイルが削除されます。








ディスプレイ表示



ディスプレイ表示

● 選択した 1 つのフォルダごと削除する場合

- 削除したいフォルダを FOLDER+ボタン()で選択します。
(右図は 2 目的のフォルダを選択した場合で、フォルダ内に 6 つのファイルがあることを表します。)
- DELETE ボタン()を押し、次に NEXT ボタン()または PREV ボタン()で右図のように DEL FOL 選択してください。
- もう一度 DELETE ボタン()を押すとファイルが削除されます。







ディスプレイ表示



ディスプレイ表示

● すべてのファイルやフォルダを削除する場合

- DELETE ボタン()を押し、次に NEXT ボタン()または PREV ボタン()で右図のように DEL ALL 選択してください。
- もう一度 DELETE ボタン()を押すとすべてのファイルやフォルダが削除されます。




ディスプレイ表示

その他ディスプレイの表示について

	USB メモリーが挿入されていない。または、USB メモリーを認識できない状態。
	SD カードが挿入されていない。または、SD カードを認識できない状態。
	USB メモリーを検出中。
	SD カードを検出中。
	再生可能なフォルダ数とファイル数。 ※左図例の場合、フォルダ数 3、ファイル数 21 となります。フォルダを作成せず各メディアにファイルだけを記録してある場合は、フォルダ数 1 としてカウントします。 ただし、最大表示はフォルダ数 99、ファイル数 999 までとなります。

	再生中のフォルダ番号、ファイル番号、再生時間を表示します。
	※左図例の場合、1 番目のフォルダの、1 曲目を再生していることになります。
	USB メモリーと SD カード間で録音(コピー)し作成された、「COPY」というフォルダ内にあるファイルを再生中は、表示が「C01」となり、ファイル番号、再生時間を表示します。
	レコードまたは補助入力端子(AUX)より、USB メモリーまたは SD カードへ、録音(コピー)し作成された、「LINEIN」というフォルダ内にあるファイルを再生中は、表示が「L01」となり、ファイル番号、再生時間を表示します。

困ったときの FAQ

<p>1. Record Mate LP を起動しても、音声は聴けません。</p>	<p>Ans1. タスクトレイのアイコンに“X”マークが付いている()場合は、Record Mate LP 本体が、正しく接続されている事を確認してください。 また、いったん Record Mate LP を終了し、本体を接続し直して、もう一度 Record Mate LP を起動してみてください。</p>
<p>2. 録音したファイルにノイズの混入や、録音中にエラーが発生する。</p>	<p>Ans2. 録音中に他のアプリケーションを操作や、バックグラウンドでアプリケーションが動作した場合、負荷の影響でノイズの混入やエラーの原因となります。録音中は他の作業を行わないようにしてください。</p>
<p>3. Record Mate LP 起動すると、「問題が発生したため、プログラムが正しく動作しなくなりました。…」と表示されソフトが起動しない。(Windows Vista / Windows 7)</p>	<p>Ans3 1. 「コントロールパネル」>「サウンド」と進み、「録音」のタブ内で「マイク配列 USB Audio controller」が、「既定のデバイス」または「動作中」となっているか確認してください。 もしこの一覧に表示されていない場合には、右クリックメニューで「無効なデバイスの表示」を選択し、「無効」と表示されたデバイスを選択し右クリックメニューでデバイスを「有効」にしてください。 2. パソコン本体に搭載されているサウンドデバイスのドライバがインストールされているか確認してください。 特に HD Audio デバイス を使用したパソコンの場合、Windows Vista または Windows 7 をインストールした時点では、ベースとなる OS 標準のドライバ (Microsoft HD Audio Driver)しかインストールされませんので、必ず サウンドデバイスのメーカー、または、パソコンメーカーから供給されるサウンドドライバをインストールしてください。</p>

<p>4. プレーヤーをパソコンに接続しておくと、パソコンのスピーカーから音が出ない。</p>	<p>Ans4. Windows 側のサウンドの「再生」側のデバイスの設定を確認してください。 Windows Xp の場合 「コントロールパネル」>「サウンド」と進み、「オーディオ」のタブ内にある、「音の再生」の項目にて、「既定のデバイス」が「スピーカーUSB Audio controller」となっていると音が出ませんので、パソコンの本体のサウンドデバイスを選択し、「既定のデバイス」と設定ください。 Windows Vista / 7 の場合 「コントロールパネル」>「サウンド」と進み、「再生」のタブ内で「スピーカーUSB Audio controller」が、「既定のデバイス」または「動作中」となっていると音が出ませんので、パソコンの本体のスピーカーを右クリックし、「既定のデバイス」と設定ください。</p>
<p>5. レコードなどを SD カードや USB メモリーへダイレクト録音した場合や、USB メモリー、SD カード間でファイルのコピーをした場合、ファイルの作成日時や、更新日時が、すべて現在の日付にならない。</p>	<p>Ans5. 仕様です。 本製品にはタイムスタンプ機能はありませんので、作成されたファイルの作成日時や、更新日時は、すべて統一された日時となります。</p>